

**【問1】** ミックスペーパーの出し方として正しくない方法は、次のうちどれでしょう  
①透明・半透明の袋に入れる ②紙袋に入れる ③包装紙などに包む

## 令和3年度3R推進講演会(オンライン開催)を配信しています！

今年で第40回目となるごみの減量・リサイクルをテーマとした「3R推進講演会」の開催は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン開催とし、川崎市公式Youtubeチャンネルで配信しています。(令和4年3月28日まで)

講演内容は、日本財団「海と日本プロジェクト」の活動の一つである「海の落語プロジェクト」より落語家の立川こしら氏をお招きし、海洋ごみ問題をテーマとした「落語で学ぶ海洋ごみ問題」の動画と「川崎市のごみ削減等の取組」をテーマとした「エシカルWAVES for SDGs (ラジオ日本)」の計2本立てとなっています。二次元コード又は下記URLからぜひ御覧ください。

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000136175.html>



## 食品ロス削減のために

日本では年間600万トンもの食品ロスが発生しています。これはなんと国民1人1日あたりお茶碗1杯分のご飯を捨てているのと同じ量に相当します。こうした食品ロスを削減するため、令和元年10月に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行されました。この法律では、消費者、事業者等に対する教育・学習の振興、知識の普及・啓発などを実施することとしています。

## 食品ロス削減協力店(旧：食べきり協力店)の取組がスタート

食べきを推奨している飲食店等を認定する「食べきり協力店」について、制度の見直しを行い、新たに「食品ロス削減協力店」がスタートしました。飲食店における食べ残しを減らす取組に加え、食品小売店における小分け販売や量り売りなど、消費者が食べきりやすくする取組も広く認定し、川崎市のホームページで紹介しています。



川崎市 HP「食品ロス削減協力店」

## セブン-イレブン・ジャパンと連携した「てまえどり」 —事業者と連携した食品ロス削減の取組—

消費者の日頃の買物の中で、購入してすぐに食べる場合に、商品棚の手前にある商品等、販売期限の迫った商品を積極的に選ぶという「てまえどり」については、販売期限が過ぎて廃棄されることによる食品ロスを削減する効果が期待されます。本市では、令和3年10月から約1か月間、株式会社セブン-イレブン・ジャパンと連携し、市内のセブン-イレブン店舗において、おにぎり等の陳列された商品を手前からとることで食品ロス削減につなげようとする「てまえどり」のキャンペーンを実施しました。



**2** 【問2】の答え ①・・・ 昭和13年 昭和13 (1938)年から市のごみ収集を開始しました。  
また、昭和30年には、日本初の自動車によるごみ収集を開始しました。